

2025年度第3四半期決算について

2026年1月29日
東京電力ホールディングス株式会社

当社は、本日、2025年度第3四半期〔2025年4月1日～2025年12月31日〕の連結業績についてとりまとめました。

売上高は、販売電力量の減少等により、前年同期比3,511億円減の4兆6,121億円となりました。

経常損益は、販売電力量の減少による減収があったものの、燃料費等調整制度の期ずれ影響が好転したことなどにより、前年同期比11億円減の3,475億円の利益となりました。

また、特別損失に原子力損害賠償費706億円や、災害特別損失9,056億円を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損益は、6,626億円の損失となりました。

(単位：億円)

| | 当第3四半期 (A) | 前年同期 (B) | 比較 | |
|---------------------------|---------------|-------------|---------|------------|
| | | | A-B | A/B (%) |
| 売 上 高 | 46,121 | 49,633 | △ 3,511 | 92.9 |
| 営 業 損 益 | 2,584 | 3,110 | △ 526 | 83.1 |
| 経 常 損 益 | 3,475 | 3,487 | △ 11 | 99.7 |
| 特 別 損 益 | △ 9,762 | △ 647 | △ 9,114 | — |
| 親会社株主に帰属する 四 半 期 純 損 益 | △ 6,626 | 2,431 | △ 9,058 | — |

【セグメント別の経常損益】

2025年度第3四半期のセグメント別の経常損益は以下のとおりです。

- 東京電力ホールディングス株式会社の経常損益は、子会社からの受取配当金が増加した一方で、卸電力販売が減少したことなどにより、前年同期比117億円減の1,194億円の利益となりました。
- 東京電力フェュエル&パワー株式会社の経常損益は、JERAにおいて海外・再エネ発電事業利益が増加したことなどにより、前年同期比392億円増の899億円の利益となりました。
- 東京電力パワーグリッド株式会社の経常損益は、需給調整に係る費用が減少したことなどにより、前年同期比198億円増の1,241億円の利益となりました。
- 東京電力エナジーパートナー株式会社の経常損益は、販売電力量の減少などにより、前年同期比160億円減の1,386億円の利益となりました。
- 東京電力リニューアブルパワー株式会社の経常損益は、卸電力販売が減少したことなどにより、前年同期比56億円減の459億円の利益となりました。

(単位：億円)

| | 当第3四半期 (A) | 前年同期 (B) | 比較 | |
|----------------|---------------|-------------|-------|------------|
| | | | A-B | A/B (%) |
| 経常損益 | 3,475 | 3,487 | △ 11 | 99.7 |
| 東京電力ホールディングス | 1,194 | 1,312 | △ 117 | 91.1 |
| 東京電力フュエル&パワー | 899 | 507 | 392 | 177.4 |
| 東京電力パワーグリッド | 1,241 | 1,042 | 198 | 119.0 |
| 東京電力エナジーパートナー | 1,386 | 1,546 | △ 160 | 89.7 |
| 東京電力リニューアブルパワー | 459 | 515 | △ 56 | 89.1 |

【2025年度業績予想】(2026年1月26日に公表した業績予想から変更はありません)

2025年度の業績予想について、売上高は、販売電力量の減少などにより、前年比3,480億円減の6兆4,620億円程度となる見込みです。

経常損益は、主に燃料費等調整制度の期ずれ影響の好転などにより、前年比230億円増の2,770億円程度の利益となる見込みです。

また、親会社株主に帰属する当期純損益は、災害特別損失の計上などにより、8,020億円減の6,410億円程度の損失となる見込みです。

以上

添付資料

・決算概要

- ・「決算短信等」については[こちら](#)をご覧ください。
- ・「特別損益の計上に関するお知らせ」については[こちら](#)をご覧ください。